

シグマ研究委員会核データ専門部会
ガンマ線生成核データワーキンググループ
55年度第1回会合議事録

日 時 : 昭和55年4月11日(金) 13:30~17:30

場 所 : 原研本部第6会議室

出席者 : 井頭, 播磨, 川合, 吉田, 浅見, 水本, 五十嵐

配布資料 :

1. ガンマ線生成核データ評価
2. 運営委員会説明資料
3. GROGI-2 マニュアル抜粋
4. GROGI-2 プログラムリスト抜粋
5. GROGI-2 入力表
6. GROGI-3 A 説明資料
7. DUCAL code について
8. CASTHY 入力改訂説明資料

議 事 :

I 前回議事録確認

補足説明:(1)浅見氏から,「GROGIによるCrの計算でもレベル密度パラメータを変えると良く合う。

(2)五十嵐氏から,資料2により「ENDF/B-Vでガンマ線生成核データを扱っている核種名リスト」の説明があった。

II 作業報告

- (1) 水本: (資料1により説明)比較のためにENDF/B-IVのデータを調べた。Ndがないので, Euについて調べた。high energy では GROGI-3の計算値, low energyではGroshevのデータを探っている。levelのスピンのパリティは入っていないし, 抜けているlevelが多い。データをプロットしてみたが, ^{151}Eu のスペクトルはMoのそれと傾向

が異って、入射エネルギーによる差が小さい。

ENDF/B-IVでは、区分できる反応はできるだけ細かく取り、区分できない反応は non-elastic としているようである。photoreaction data が分っているときはそれを取り、分っていない時は multiplicity を入れている。

ENDF/B-IV の data については、各自担当の核種の data をプロットしてみることにした。

- (2) 播磨，川合：（資料3～6により説明）GROGIの各 version のリストを比較して違いを見つけているが、プログラムを修正するまでには至っていない。

標準は東工大の version にするつもりである。

Γ_γ の与え方が統一されていないことや、profile function に不明な点があるので、現在検討している。

改訂の際に追加を希望する事項は早く申し出ること。

- (3) 井頭：（資料7により説明）DUCALの内容を調べたが、疑問点が多く、使う気がしない。むしろCASTHYにM1，E2などの計算を追加して使った方がよい。

この報告により、DUCALは使わないことにした。

- (4) 吉田： ^{235}U のデータを調べたが新しいものがない。

- (5) 五十嵐：（資料8により説明）discrete level間のbranching ratioを入力出来るようにした。その入力型式について説明。

III データ収集活動について

測定データがNESTORにどの程度入っているかを調べてみる必要がある。data収集については、大学関係の測定データを提供してもらえないか？ 数値としてもらいたいが、むづかしいのではないか。

NaIで測ったdataの方がGeで測ったdataよりも計算とは合せ易いのではないか。

などの議論があった。

次回には data 収集状況について報告する。その他 ENDF/B-IV の format の説明と ENDF/B-IV data のプロットを予定する。

次回 5月26日